

中池見のトンボ

— 1991～1995年度調査報告 —

和田茂樹*

福井県敦賀市の北東部に位置する極曲の中池見は、周囲を標高100～170mの丘陵で囲まれた、25 ha程の水田地帯である(図1)。その一部に見られる廃田や、畦に沿って流れる溝川には湿性植物が繁茂し、水生生物の生息に絶好の環境となっている。中池見ではこれまでに、ゲンゴロウやオオコオイムシなどの水生昆虫、デンジソウやヤナギヌカボなどの湿性植物といった、近年全国各地で減少しつつある動植物が多数発見されており、生物学的に見ても貴重な場所であるとして注目を集めている。

筆者は1991年の8月に初めて中池見を訪れ、翌年からは年間を通して継続的に同地のトンボの生息状況を調査してきた。本格的に湿地内に踏み入った1992年の6月27・28日の2日間で33種を確認し、以後調査が進む中で、現在までに目撃種も含めて50種が記録された。現在県内では96種が記録されているので、中池見ではその半分以上が記録されたことになる。また県内屈指のトンボ生息地

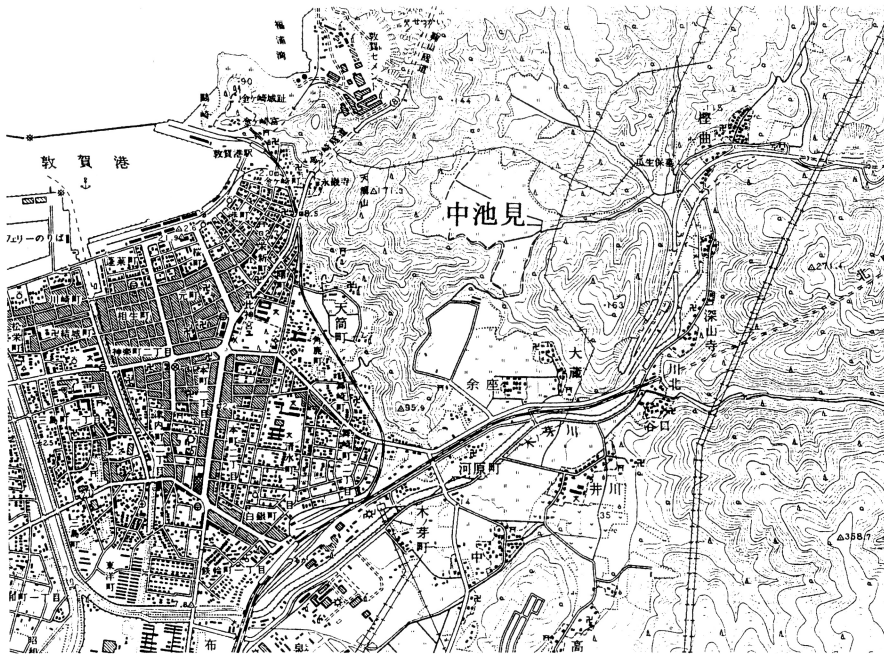


図1 中池見の位置(国土地理院発行2.5万分の1地形図「敦賀」を使用)

* 〒910 福井市西木田3-8-18 (福井県立藤島高校3年)

とされる福井市末町や金津町東山周辺でも40種程度にとどまっており、中池見が群を抜いて優れた生息地であることがわかる。このことは、中池見に湿地・水田・池沼・ゆるやかな流れなどといったトンボの生息に必要なあらゆる水環境が揃っていることや、水田の間を流れる溝川に、コンクリート等による護岸が全く施されていないことなどに起因するものと考えられる。

今回は1991年から1995年にかけての採集記録及び観察された生態の概要を報告する。中池見のトンボについてはまだまだ研究の余地があると思うが、この報告が現段階における中池見の自然を知る手がかりとなれば幸いである。

概 要

敦賀市街地の北東部から木ノ芽川沿いの県道をさらに北東に進み、極曲集落の入り口で左折すると、中池見に続くうしろ谷（小字名については図2参照）に至る。ここは幅20～30m程の谷で、水田脇を流れる小川にはハグロトンボやオニヤンマが見られ、林縁にはマユタテアカネの未熟個体やオオシオカラトンボが多い。夏季には水田上でネアカヨシヤンマを主体としたヤンマ類の黄昏飛翔が観察される。

うしろ谷を抜けると、中池見を流れる主要な4本の溝川（新田江・中江・笹鼻江・堀切江）の合

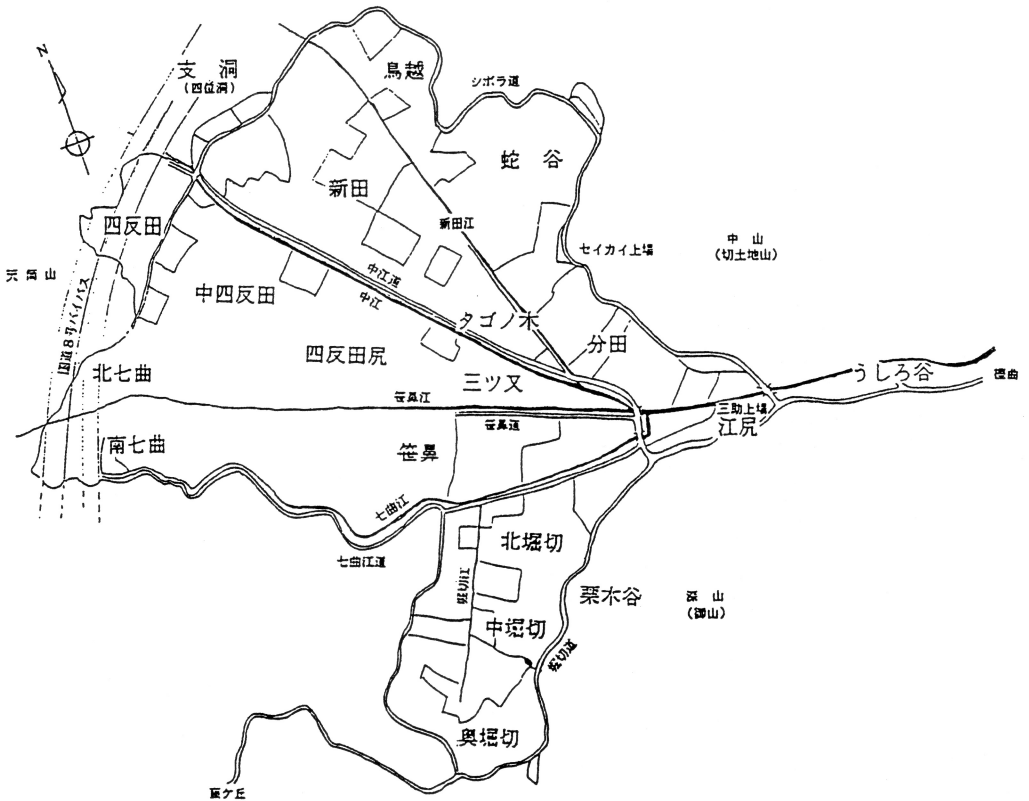


図2 中池見の区分図

流地点である江尻に出る。キイロサナエヤクロスジギンヤンマはこの溝川で最も多く見られ、クロイトトンボやシオカラトンボ、ギンヤンマなども多い。

中池見の南端に位置する栗木谷には水田の他、一部に湿地も見られるが草原化が進んでおり、シオカラトンボやオニヤンマなどが見られる程度である。

中央部では主に新田に深い湿地が点在し、アオヤンマやヨツボシトンボなどが見られる。四反田尻や三ツ又にはヨシなどの草原が多いが、中四反田には浅い湿地が少数あり、一部の湿地にはモートンイトトンボが生息している。笹鼻には、造成跡にできた水面の開けた比較的大きめの溜池が一部でつながりながら数箇所にて点在し、ウチワヤンマやオオヤマトンボ、コフキトンボなどが見られるが、その溜池群から南七曲にかけては埋め立てのため荒れ地となっている。

北東部では鳥越と分田に水田とヨシの草原が混在するが、蛇谷では廃田が大半を占めており、湿性植物の繁茂する良好な湿地となっている。ここにはサラサヤンマ、エゾトンボ、ハッチョウトンボ、ヒメアカネなどの記録が集中している。また、蛇谷の奥にある浅い池（通称ハス池）には、キイトトンボやショウジョウトンボが多く、オオルリボシヤンマの採集記録もある。

以上、中池見におけるトンボ生息状況の概要を述べたが、全体的に見て、国道8号線バイパスの造成が進んでいる西部や既に埋め立てられた笹鼻から南七曲にかけての一部を除いては、湿地や溝川などトンボの生息に必要な水域が良好な状態で保たれているといえる。

採集記録

注：解説文中の「成虫期」は、福井県全域における目安を示したものである。

I. イトトンボ科 Coenagrionidae

1. モートンイトトンボ *Mortonagrion selenion* (Ris)

1♂3♀, 28. VI. 1992; ♀数頭目撃, 27. VI. 1993

草丈が低く、浅い湿地に生息。中池見には、現在工事中の国道8号線バイパス沿い(中四反田)に唯一の生息地があるが、工事拡大により埋め立てられるのは時間の問題。福井県全域でも中池見の他、敦賀市池ノ河内、小浜市荒木などにしか確実な生息地のない稀種である。成虫期5月中旬～7月下旬。

2. キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* (Selys)

1♂, 25. VIII. 1991; 1♂, 28. VI. 1992; 1♀, 14. VII. 1992羽化(同年6月27日に幼虫採集); 1♂目撃, 27. VI. 1993

草丈の低い湿地及び池沼に生息。中池見では全域の湿地や溝川で見られるが、時期により個体数にかなりの変動がある。成虫期6月上旬～9月中旬。

3. アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* (Rambur)

1♂, 27. VI. 1992; 1♀(♂型), 27. IX. 1992; 1♂, 23. VII. 1995

主に海岸に近い湿地や池沼に生息するが、福井県では敦賀市若泉で一時的に多産した他は、各地で偶産記録が数例あるのみで、極めて少ない。上記の記録はいずれも笹鼻の溜池で採集したものである。成虫期6月下旬～11月上旬。

4. アジイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer

1♂1♀, 25. VIII. 1991; 1♀, 28. VI. 1992; 1♂, 12. VII. 1992; 1♂, 15. V. 1993; 1♂, 5. IX. 1993; 1♂1♀, 23. VII. 1995

湿地・水田・池沼などに生息。中池見では全域の湿地や溝川で見られる。成虫期4月下旬～11月上旬。

5. クロイトトンボ *Cercion calamorum calamorum* (Ris)

1♂, 25. VIII. 1991; 3♂, 27. VI. 1992; 1♂, 4. VII. 1992; 1♂1♀(♀は♂型), 4. VII. 1993; 1♂, 5. IX. 1993; 1♂, 28. V. 1994羽化(同年5月1日に幼虫採集); 1♂1♀, 29. V. 1994羽化(同年5月1日に幼虫採集); 1♂, 23. VII. 1995

池沼に生息。中池見では溝川に生息し、イトトンボの中では最も個体数が多い。成虫期5月上旬～10月上旬。

6. オオイトトンボ *Cercion sieboldii* (Selys)

1♂, 25. VIII. 1991; 1♂, 29. V. 1992羽化(同年3月15日に幼虫採集); 1♂, 3. VI. 1992羽化(同年3月15日に幼虫採集); 2♂, 27. VI. 1992; 1♂, 4. VII. 1993; 1♂, 22. V. 1994
湿地や池沼に生息。中池見では前種と同様、溝川に多く見られるが、草丈の低い湿地にも散見される。成虫期5月中旬～9月下旬。

II. モノサシトンボ科 Platycnemididae

7. モノサシトンボ *Coperia annulate* (Selys)

2♂, 25. VIII. 1991; 5頭幼虫, 15. III. 1992; 2♂, 27. VI. 1992; 1♀, 12. VII. 1992

池沼に生息し、中池見では溝川に多産する。未熟個体は分田などの林縁の木陰でよく見られる。成虫期5月中旬～9月下旬。

III. アオイトトンボ科 Lestidae

8. オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys

1♂目撃, 28. VI. 1992; 3頭羽化殻, 4. VII. 1992; 1♂1♀, 27. IX. 1992

池沼に生息するが、中池見では水田から多数発生している。前種と同様に未熟個体は分田などの林縁の木陰で見られる。成虫期6月中旬～11月中旬。

9. ホソミオツネトンボ *Indolestes peregrinus* (Ris)

2♂1♀, 7. VI. 1993

池沼や水田に生息する成虫越冬種。中池見では溝川の他、蛇谷奥のハス池で多く見られる。7月中旬から発生し、翌年5月上旬～7月下旬に生殖行動を行う。

IV. カワトンボ科 Calopterygidae

10. ハグロトンボ *Calopteryx atrata* Selys

1 ♂ 1 ♀, 25. VIII. 1991; 1 ♂ 1 ♀, 27. VI. 1992; 1 ♂, 12. VII. 1992; ♀数頭目撃(産卵中), 9. VIII. 1993; ♂♀多数目撃, 9. X. 1993; 1 ♀, 8. VI. 1994羽化(同年5月1日に幼虫採集); 1 ♂, 26. VII. 1995

植生の豊かな小流や河川中流域に生息。中池見では溝川及びうしろ谷の小川で見られ、未熟個体は林中に群がる。成虫期6月上旬～10月上旬。

11. オオカワトンボ *Mnais nauai* Yamamoto

1 ♀, 28. VI. 1992; 2 ♂ 2 ♀, 15. V. 1993

小流や河川中流域に生息し、中池見ではうしろ谷の小川に多産する。成虫期4月下旬～7月中旬。

12. ヒウラカワトンボ *Mnais* sp.

1 ♂(長田 勝採集), 26. V. 1993

小流に生息し河川中流域にも見られるが、概して前種よりも小規模で陰湿な流れを好む。中池見ではうしろ谷の小川で見られ、うしろ谷に流れ込む微細な流れにも見られる。個体数は前種よりも少ない。成虫期4月下旬～8月中旬。

V. ムカシヤンマ科 Petaluridae

13. ムカシヤンマ *Tanypteryx pryeri* (Selys)

1 ♂, 27. VI. 1992; 1 ♂, 27. VI. 1993

小流の周辺に生息し、幼虫はコケの密生した湿った土の斜面にトンネルを掘って棲む。中池見ではうしろ谷の農道上でよく見かける。成虫期5月中旬～6月下旬。

VI. サナエトンボ科 Gomphidae

14. ヤマサナエ *Asiagomphus melaenops* (Selys)

1 ♂ 2 ♀, 27. VI. 1993; 1 ♀, 4. VII. 1993

小流や河川中流域に生息。中池見では溝川及びうしろ谷の小川で見られる。オスは江尻の溝川に多く、メスは周辺の林縁に多い。成虫期5月上旬～7月上旬。

15. キイロサナエ *Asiagomphus pryeri* (Selys)

3 ♂, 4. VII. 1992; 1 ♂, 4. VII. 1993; 1 ♂, 14. V. 1994羽化(同年5月1日に幼虫採集); 1 ♀, 18. V. 1994羽化(同年5月1日に幼虫採集); 1 ♀, 26. VII. 1995

泥底の小流に生息する稀種で、現在のところ中池見は福井県における確実な生息地となっている。うしろ谷でも見られるが、幼虫の川底の選択性の狭さから考えて、生息しているのは湿原内の溝川のみである可能性が高い。中でも江尻の溝川では幼虫を採集しオスの縄張りも観察しており、この川が本種の生態と深く関わっているようである。また7月下旬になおも数頭の個体を目撃し

ていることから、前種よりも僅かに発生が遅れるものと考えられる。成虫期6月中旬～7月下旬。

16. コサナエ *Trigomphus melampus* (Selys)

1 ♀, 23. IV. 1992羽化; 1 ♀, 24. IV. 1992羽化; 1 ♀, 25. IV. 1992羽化; 2 ♀, 27. IV. 1992羽化; 1 ♂, 29. IV. 1992羽化; 4 ♂, 27. VI. 1992; 1 ♀, 28. VI. 1992; 1 ♀, 27. IV. 1993羽化; 1 ♂ 1 ♀, 5. V. 1993羽化; 1 ♂ 4 ♀, 15. V, 1993; 1 ♂ 1 ♀, 27. VI. 1993; 1 ♂, 4. VII. 1993; ♂ ♀多数目撃, 3. V. 1995 (1992年及び1993年に羽化させた個体はそれぞれ3月15日, 4月18日に幼虫を採集し飼育したものである。)

池沼や、ゆるやかな流れに生息。中池見では溝川に多産し、全域に見られる。5月上旬頃には、おびただしい数の羽化直後の個体が観察される。成虫期4月下旬～7月下旬。

17. オジロサナエ *Stylogomphus suzukii* (Oguma)

1 ♀, 28. VI. 1992; 1 ♀, 27. VI. 1993

河川の上～中流域に生息するが、時に川幅1m未満の小規模な溪流に多産することもある。中池見では、うしろ谷の農道で2頭を採集したが、いずれも羽化直後の個体であったことから、うしろ谷の小川に生息している可能性が高い。成虫期6月中旬～8月下旬。

18. コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys

1 頭目撃, 5. IX. 1993

河川の上～中流域及び砂利質の湖岸に生息。中池見では笹鼻の溜池のほとりに静止していた1個体を目撃した。中池見には本種が生息できる規模の河川は流れていないが、敦賀市内では黒河川に多産しており、また中池見の付近を流れる木の芽川にも河川の状態から見て生息しているものと考えられ、中池見周辺の丘陵が本種の主に未熟個体の活動場所となっている可能性がある。成虫期6月上旬～9月中旬。

19. ウチワヤンマ *Ictinogomphus clavatus* (Fabricius)

1 ♂目撃, 27. VI. 1992; 1 ♀, 28. VI. 1992; 1 ♂ 1 ♀, 4. VII. 1992; 3 頭羽化殻, 27. VI. 1993; 1 ♀, 23. VII. 1995

池沼や湖に生息し、中池見では笹鼻の溜池に生息している。1994年に溜池の一部が埋め立てられ一時絶滅が危惧されたが、その後水面に植生が戻り、生息地の状態は回復しつつある。成虫期6月上旬～8月下旬。

VII. オニヤンマ科 Cordulegastridae

20. オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys)

1 ♂目撃, 27. VI. 1992; 1 ♀, 28. VI. 1992; 1 ♂ 1 ♀, 4. VII. 1992; 1 ♂, 9. VIII. 1993

河川上流域・小流・浅い湿地などに広く生息。中池見では水田脇を流れる小流などに生息し、全域に見られる。成虫期5月下旬～10月中旬。

VIII. ヤンマ科 Aeshnidae

21. サラサヤンマ *Oligoaeschna pryery* (Martin)

1 ♂, 27. VI. 1993

足を踏みいれると水がしみ出すような、雑草の生い茂る湿地に生息。中池見では蛇谷の湿地に多く、天候さえよければ、湿地上の小空間でホバリングを交えて縄張り飛翔するオスの姿が見られる。成虫期5月上旬～7月上旬。

22. アオヤンマ *Aeschnophlebia longistigma* Selys

2 ♀, 27. VI. 1992; 1 ♂, 28. VI. 1992; 1 ♂, 4. VII. 1993; 1 ♀, 7. VI. 1994羽化(同年5月1日に幼虫採集); 1 頭目撃, 24. VII. 1994

ヨシやマコモなど背丈の高い湿性植物の繁茂する池沼・湿地に生息。中池見では、主に新田や笹鼻に点在する深い湿地に生息し、個体数は比較的多い。オスは湿地や草原上を直線的に飛翔し、メスはヨシなどの草に静止していることが多い。福井県では中池見の他、芦原町赤尾などにしか確実な生息地のない稀種。成虫期6月上旬～7月下旬。

23. ネアカヨシヤンマ *Aeschnophlebia anisoptera* Selys

3 ♀, 28. VI. 1992; 1 ♂, 17. VI. 1993羽化(同年5月15日に幼虫採集); 2 ♂, 9. VIII. 1993; 7 ♂ 1 ♀, 23. VII. 1995

やや背丈の高い湿性植物の繁茂する池沼・湿地に生息。中池見では前種と同様に新田や笹鼻に点在する深い湿地に生息し、幼虫を採集してみると個体数は前種より圧倒的に多い。黄昏飛翔は主に分田やうしろ谷で観察されるが、この際湿地上空を飛翔することは殆どなく、水田の上空に限って飛翔する。黄昏飛翔は7月下旬～8月上旬に最盛期を迎え、通常は数十頭の群れをなす。福井県では福井市・三方町・小浜市・高浜町などにも比較的採集・目撃記録は多いが、確実な生息地は中池見のみ。成虫期6月下旬～8月下旬。

24. ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* (Selys)

♂♀多数目撃, 9. VIII. 1993

周囲に木立ちのある暗い池沼に生息。中池見では江尻周辺で前種に混じって黄昏飛翔をする個体を目撃したが、前種よりもいくぶん高所を飛翔する傾向が見られた。本種は池沼の他、林中の水溜まりや古い側溝などの小規模な水域にも生息し得るため、中池見に生息している可能性は十分にある。成虫期7月上旬～9月中旬。

25. オオルリボシヤンマ *Aeshna nigroflava* Martin

1 ♂目撃, 27. IX. 1992; 1 ♂, 5. IX. 1993

池沼に生息し、高冷地にも多産。中池見で採集・目撃した個体は、いずれも蛇谷奥のハス池上空を旋回していたものである。発見された個体数は少ないが、中池見の周辺地域に本種の確実な生息地がないため、定着している可能性もある。成虫期7月下旬～10月中旬。

26. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* (Selys)

1 ♀目撃(産卵中), 29. VIII. 1992; 1 頭羽化殻, 4. VII. 1993; 1 ♀, 9. VIII. 1993; 1 頭幼虫, 1. V. 1994

池沼や深い湿地に生息。中池見では中四反田の湿地で産卵を目撃し、三ツ又の溝川で幼虫・羽化殻を採集しており、少数ながら生息しているものと思われる。また、うしろ谷の水田上では、ネアカヨシヤンマに混じってやや高所を黄昏飛翔するメスの姿が見られる。成虫期6月中旬～9月下旬。

27. ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer

1 ♂ 1 ♀・1 頭羽化殻, 27. VI. 1992; 1 ♀, 23. VII. 1992羽化(同年3月15日に幼虫採集); 1 ♂, 12. VI. 1993羽化(同年5月15日に幼虫採集); 1 ♂, 18. VI. 1993羽化(同年5月15日に幼虫採集); 1 頭羽化殻, 27. VI. 1993; 2 ♀, 9. VIII. 1993; 1 ♂, 22. V. 1994; 2 ♂ 1 ♀, 23. VII. 1995

水面の開けた池沼に生息。中池見では溝川に多産し、湿地や水田などあらゆる水域でオスの縄張り飛翔が見られる。また、夏季にはネアカヨシヤンマに混じって黄昏飛翔を行う。成虫期5月下旬～10月中旬。

28. クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus nigrofasciatus* Oguma

1 ♀, 2. V. 1992羽化; 1 ♂ 1 ♀, 5~6. V. 1992羽化; 1 ♀, 14. V. 1992羽化; 1 ♀, 22. V. 1992羽化; 1 ♂, 27. VI. 1992; 1 ♂, 28. VI. 1992; 1 ♂, 27. VI. 1993; 1 ♂, 4. VII. 1993; 1 ♀, 2. V. 1994羽化; 1 ♀, 3. V. 1994羽化; 1 ♂, 26. VII. 1995 (1992年及び1994年に羽化させた個体は、それぞれ3月15日, 5月1日に幼虫を採集し飼育したものである。)

池沼に生息し、前種の見られない暗い水域にも生息する。中池見では溝川に多産し、三ツ又の溝川には幼虫が密集する。江尻の溝川では前種に混じって見られ、オスは前種より水面に近い部位を、川岸に沿って縄張り飛翔する。成虫期5月上旬～9月下旬。

IX. エゾトンボ科 Corduliidae

29. コヤマトンボ *Macromia amphigena* Selys

3 頭幼虫, 1. V. 1994; 1 ♂(松村俊幸採集), 6. VII. 1993

河川の上～中流域に生息するが、時として池沼にも生息。中池見では江尻の溝川で幼虫を採集した他、うしろ谷での成虫の採集記録があるが、本種の生態から考えると中池見での定着は難しく、いずれも偶産記録である可能性が高い。なお敦賀市内では黒河川に多産している。成虫期5月中旬～8月下旬。

30. オオヤマトンボ *Epopthalmia elegans* (Brauer)

1 ♂・1 ♀目撃(産卵中), 28. VI. 1992; 1 ♂, 4. VII. 1992; 1 頭羽化殻, 12. VII. 1992; 1 ♂, 27. VI. 1993; 1 ♂ 1 ♀, 23. VII. 1995

水面の開けた大きめの池沼に生息。中池見では笹鼻の溜池でオスの縄張り飛翔が見られ、メスも時折産卵に訪れる。成虫期5月下旬～10月上旬。

31. エゾトンボ *Somatochlora viridiaenea* (Uhler)

1♂, 26. VII. 1995

乾燥気味の湿地内の、浅い滞水に生息。中池見では蛇谷の湿地に見られ、オスの縄張りの際の飛行高度は、サラサヤンマよりもいくぶん高めである。成虫期6月中旬～9月下旬。

X. トンボ科 Libellulidae

32. ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* (Selys)

1♂, 27. VI. 1992; 1♂, 28. VI. 1992; 1♀, 22. V. 1994

湿性植物の繁茂する湿地に生息。中池見では新田や笹鼻などに広がる湿地やヨシの草原などで見られるが、個体数は少ない。福井県では中池見の他、小浜市荒木・口名田、福井市天菅生などにしか確実な生息地のない稀種。成虫期5月中旬～7月下旬。

33. シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* (Uhler)

2頭幼虫, 4. VII. 1992; 1♂, 27. IX. 1992; 1♀, 15. V. 1993; 1♂目撃, 9. X. 1993;
1♂目撃, 5. IX. 1993

湿地・水田・池沼・ゆるやかな流れなどに広く生息。中池見では全域に見られ、個体数も年間を通して多い。他のトンボに比べて孳猛で、チョウやトンボなど大型の昆虫も捕食する。成虫期5月上旬～11月中旬。

34. シオヤトンボ *Orthetrum japonicum japonicum* (Uhler)

2♀, 27. VI. 1992; 3♂2♀, 15. V. 1993; 1♂, 27. VI. 1993

湿地や水田に生息。中池見では全域に見られ、春にはコサナエとともに最も目につくトンボの一つである。成虫期4月中旬～7月上旬。

35. オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania* (Selys)

1頭羽化殻, 27. VI. 1992; 1♂目撃, 27. VI. 1993; 1♂, 26. VII. 1995

湿地・水田・池沼・ゆるやかな流れなどに広く生息。中池見では全域に見られ、未熟個体は林縁の木陰に多い。成虫期6月中旬～10月中旬。

36. ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata asahinai* (Schmidt)

1♂1♀, 27. VI. 1992; 1♂1♀, 4. VII. 1992; 1♂1♀, 27. VI. 1993

湿性植物の繁茂する湿地や池沼に生息。中池見では蛇谷や新田などの湿地で見られ、オスは湿地から突き出た枯れ草の先端などに静止して占有する。成虫期5月上旬～7月上旬。

37. ハッチョウトンボ *Nannophya pygmaea* Rambur

1♂目撃, 27. VI. 1993

日当たりが良く、草丈の低い浅い湿地に生息。中池見では蛇谷の一角に生息地があるが個体数は少なく、植生遷移による絶滅が危惧される。福井県では丹生山地周辺に比較的の生息地が多いが、近年ゴルフ場造成に伴う丘陵地の開削などにより生息地は減少しつつある。成虫期5月下旬～8月中旬。

38. コフキトンボ *Deielia phaon* (Selys)

2♂, 27. VI. 1992; 2♀, 4. VII. 1992; 1♂1♀目撃, 29. VIII. 1992; 1♂, 27. VI. 1993;
1♂, 4. VII. 1993; 1頭幼虫, 1. V. 1994; 1♀, 23. VII. 1995; 1♂, 26. VII. 1995
腐植栄養型の池沼に生息。中池見では三ツ又の溝川や笹鼻の溜池で見られ、個体数は多い。福井
県では北潟湖と久々子湖(ともに潟湖)に多産するが、その他の水域で発見されることは少ない。
成虫期5月下旬～9月下旬。

39. ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia mariannae* Kiauta

1♂, 28. VI. 1992; 1♀, 4. VII. 1992; 1♂, 12. VII. 1992; 1♀目撃(産卵中), 27. VI.
1993; 1♀, 22. V. 1994
池沼に生息。中池見では全域の溝川に見られ、蛇谷奥のハス池にも多産する。成虫期5月下旬～
9月中旬。

40. アキアカネ *Sympetrum frequens* (Selys)

1♂1♀, 27. VI. 1992; 1♂, 4. VII. 1992; 1♀, 27. IX. 1992; 1♂, 9. VII. 1993羽化
(同年7月4日に幼虫採集); 1♀, 27. VII. 1993羽化(同年7月4日に幼虫採集); 1♀, 5. XI.
1993
湿地・水田・池沼などに広く生息。中池見では全域に見られ、個体数も多い。成虫期6月中旬～
12月中旬。

41. ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* (Selys)

1♂1♀, 27. IX. 1992; 1♀, 16. VII. 1993羽化(同年7月4日に幼虫採集); 1♀, 27. VII.
1993羽化(同年7月4日に幼虫採集); 1♀, 5. XI. 1993
湿地・水田・池沼などに広く生息。中池見では全域に見られ、個体数もアカネ属の中では前種に
次いで多い。成虫期6月下旬～11月中旬。

42. マユタテアカネ *Sympetrum eroticum* (Selys)

1♂, 27. VI. 1992; 1♂, 4. VII. 1992; 1♂2♀(1♀ノシメ型), 29. VIII. 1992; 1♂1♀
(♀はノシメ型), 27. IX. 1992; ♂♀多数目撃, 27. VI. 1993; 1♀(ノシメ型), 4. VII. 1993;
1♂, 11. VII. 1993羽化(同年7月4日に幼虫採集); 1♂1♀, 9. VIII. 1993; 1♂1♀(♀はノ
シメ型), 5. IX. 1993; 1♂, 5. XI. 1993; 1♂, 26. VII. 1995
湿地や池沼などに広く生息するが、いくぶん周囲に木立のある水域を好む傾向がある。中池見で
は全域に見られ、未熟個体は林縁の木陰に多い。メスには2型があるが、中池見では透明翅型よ
りもノシメ型の方が出現率が高い。成虫期6月下旬～11月上旬。

43. マイコアカネ *Sympetrum kunckeli* (Selys)

1♂(前田 彰採集), 15. VIII. 1994
腐植栄養型の池沼に生息。中池見では笹鼻の林縁で、ほぼ成熟した個体が1頭採集されたのみで
ある。発生場所は不明だが、敦賀市内では現在のところ本種の生息地が見つかっておらず、中池
見で発生した個体である可能性もある。福井県では北潟湖南部などにしか確実な生息地のない稀

種。成虫期8月中旬～10月下旬。

44. ヒメアカネ *Sympetrum parvulum* (Bertenef)

3♂, 14. XI. 1993

湿性植物の繁茂する湿地に生息。中池見では蛇谷の湿地で見られるが、他のアカネ属のトンボと異なり農道に出てくることは少なく、湿地内のヨシなどの草の間に見い出されることが多い。福井県では中池見の他、小浜市荒木、三方町中山などにしか確実な生息地のない稀種。成虫期7月下旬～11月中旬。

45. ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (Selys)

1♂1♀・1頭羽化殻, 28. VI. 1992; 1♂1♀, 27. IX. 1992; 1♂, 27. VI. 1993; 2♀, 4. VII. 1993

湿地・水田・池沼などに広く生息。中池見では全域に見られ、アカネ属の中ではアキアカネとともに最も個体数が多い。1994年10月10日、笹鼻の水田で本種の3連結産卵を観察した。成虫期6月中旬～11月中旬。

46. コノシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum* Ris

1♂, 27. IX. 1992; 1♀, 29. X. 1995

湿地・水田・池沼などに広く生息。中池見では全域において前種に混じって見られる。オスは占有領域に対して前種よりも強い執着を示す。成虫期7月下旬～11月中旬。

47. リスアカネ *Sympetrum risi risi* Bartenef

1♂(長田 勝採集), 8. IX. 1992

周囲に木立ちのある池沼に生息。中池見では蛇谷の林縁で1頭採集されたのみであるが、周辺地域に確実な生息地がないことから、少数ながら生息している可能性もある。福井県全域でも確実な生息地は金津町東山にしかなく、その他では採集記録が点在するのみである。成虫期8月上旬～11月上旬。

48. コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* Burmeister

1♂, 28. VI. 1992; 1頭幼虫, 4. VII. 1992; 1頭羽化殻, 27. VI. 1993; 1♂, 23. VII. 1995

池沼に生息。中池見では溝川に多産し、江尻の溝川ではシオカラトンボなどに混じって飛翔する。未熟個体は林縁の農道上のやや高所を巡回飛翔する。成虫期5月下旬～10月中旬。

49. チョウトンボ *Rhyothmis fuliginosa* Selys

1頭目撃, 28. VI. 1992; 1♂, 29. VIII. 1992

腐植栄養型の池沼に生息。中池見で確認された個体数は少なく、定着しているかどうかは不明。池沼や溝川の状態から考えて、中池見での定着は難しいと思われる。福井県では近年、北瀧湖周辺や美浜町佐柿で個体数が激減し、現在のところ多産地は清水町片山周辺のみ。成虫期6月下旬～9月中旬。

50. ウ斯巴キトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius)

1♀, 25. VIII. 1991; ♂数頭目撃, 28. VI. 1992; 1♀, 27. IX. 1992

湿地・水田・池沼などに一時的に多産する南方からの飛来種。中池見では、7～8月に最も個体数が多くなり全域に見られるが、個体数は年によってかなりの変動がある。福井県では6月中旬に姿を現し、10月中旬まで発生を繰り返す。

文 献

- 和田茂樹・前田 彰・岩佐康平・長田 勝. 1991. 1991年に福井県で採集したトンボ類. 福井市立郷土自然科学博物館研究報告, (38): 63-72.
- 和田茂樹・前田 彰・岩佐康平・長田 勝. 1992. 1992年に福井県で採集したトンボ類. 福井市自然史博物館研究報告, (39): 59-73.
- 和田茂樹・前田 彰・長田 勝. 1993. 1993年に福井県で採集したトンボ類. 同上, (40): 71-82.
- 和田茂樹・前田 彰・長田 勝. 1994. 1994年に福井県で採集したトンボ類. 同上, (41): 77-87.
- 敦賀ナチュラリスト集団・緑と水の会. 1992. AMENITY AREA in Tsuruga 中池見・敦賀市檜曲湿地

中池見のトンボ

中池見で確認された50種のトンボ

(●：筆者確認, ○：福井市自然史博物館研究報告より抜粋)

	種名	♂	♀	幼		種名	♂	♀	幼
1	モートンイトトンボ	●	●		26	マルタンヤンマ		●	●
2	キイトトンボ	●	●	●	27	ギンヤンマ	●	●	●
3	アオモンイトトンボ	●	●		28	クロスジギンヤンマ	●	●	●
4	アジアイトトンボ	●	●		29	コヤマトンボ	○		●
5	クロイトトンボ	●	●	●	30	オオヤマトンボ	●	●	●
6	オオイトトンボ	●	●	●	31	エゾトンボ	●		
7	モノサシトンボ	●	●	●	32	ハラビロトンボ	●	●	
8	オオアオイトトンボ	●	●	●	33	シオカラトンボ	●	●	●
9	ホソミオツネトンボ	●	●		34	シオヤトンボ	●	●	●
10	ハグロトンボ	●	●	●	35	オオシオカラトンボ	●	●	●
11	オオカワトンボ	●	●		36	ヨツボシトンボ	●	●	
12	ヒウラカワトンボ	○			37	ハッチョウトンボ	●	●	
13	ムカシヤンマ	●	○		38	コフキトンボ	●	●	●
14	ヤマサナエ	●	●	●	39	ショウジョウトンボ	●	●	●
15	キイロサナエ	●	●	●	40	アキアカネ	●	●	●
16	コサナエ	●	●	●	41	ナツアカネ	●	●	●
17	オジロサナエ		●		42	マユタテアカネ	●	●	●
18	コオニヤンマ※				43	マイコアカネ	○		
19	ウチワヤンマ	●	●	●	44	ヒメアカネ	●		
20	オニヤンマ	●	●	●	45	ノシメトンボ	●	●	●
21	サラサヤンマ	●	○		46	コノシメトンボ	●		
22	アオヤンマ	●	●	●	47	リスアカネ	○		
23	ネアカヨシヤンマ	●	●	●	48	コシアキトンボ	●	●	●
24	ヤブヤンマ※				49	チョウトンボ	●		
25	オオルリボシヤンマ	●			50	ウスバキトンボ	●	●	

注：「幼」は幼虫を指し、羽化殻の記録を含む。※は目撃記録のみ。